

野菜は3年連続上昇

全体では50%前後で推移

近年は農業生産者の販路多様化などに伴い、系統農協を通じて出荷する割合、いわゆる「系統共販率」が低下してきた。最盛期でも推計で6割程度とされていたが、最近では5割程度で推移している。コメ、果実の低下が目立つが、一方で野菜はわずかながらも3年連続で上昇し、6割近い。そのほか畜産は42%前後で推移しているが、コメ、果樹、花きは下落傾向が続く。

農水省の「生産農業所得統計」により全国の農業産出額（品目別生産数量×品目別農家庭先販売価格）と、同省の「総合農協統計表」による総合農協販売額（農協手数料を含む、専門農協は含まない）を比較すると、いわ

を繰返して、16年には54.8%と最低水準に。しかし17年は55.3%、18年は56.4%、さらに19年も58.6%へと上昇。一方、果実は85.2%から49.7%まで大きく低下している。青果物以外ではコメが62.1%から49.0%へ、花きも47.5%から36.8%へ低下。ただ畜産は45.4%から42.1%へと、一定水準を維持している。4%まで低下。しかし19年は50.9%と若干ながら上昇した。

そのうち野菜は93年の54.4%から上昇・下落を繰返して、16年には54.8%と最低水準に。しかし17年は55.3%、18年は56.4%、さらに19年も58.6%へと上昇。一方、果実は85.2%から49.7%まで大きく低下している。青果物以外ではコメが62.1%から49.0%へ、花きも47.5%から36.8%へ低下。ただ畜産は45.4%から42.1%へと、一定水準を維持している。4%まで低下。しかし19年は50.9%と若干ながら上昇した。

は、第一に「生産者の高齢化」。生産現場からのリタイヤに加え、高値が期待できるものの負担もそれなりに大きい共選販売にはついて行けないことから、近隣の農協以外の直売所に出荷する生産者が増えている。また「直販の伸長」も要因。スーパーのインシヨップとして直売所を運営する業者や、産直通販事業者も伸びており、それらへ納品するケースは珍しくない。さらに販路獲得に自信のある篤農家、大型農家では直販、

全国の農産物産出額における系統農協（総合農協）シェアの推移
上段＝全国産出額（億円）、中段＝農協販売高（億円）、下段＝シェア（%）

| | 1993年 | 2014年 | 2015年 | 2016年 | 2017年 | 2018年 | 2019年 |
|----|---------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 合計 | 104,472 | 83,639 | 87,979 | 92,025 | 92,742 | 90,558 | 88,938 |
| | 59,335 | 43,262 | 45,349 | 46,882 | 46,849 | 45,678 | 45,251 |
| | 56.8% | 51.7% | 51.5% | 50.9% | 50.5% | 50.4% | 50.9% |
| コメ | 28,359 | 14,343 | 14,994 | 16,549 | 17,357 | 17,416 | 17,426 |
| | 17,607 | 8,239 | 7,914 | 8,429 | 8,904 | 8,587 | 8,545 |
| | 62.1% | 57.4% | 52.8% | 50.9% | 51.3% | 49.3% | 49.0% |
| 畜産 | 26,696 | 29,448 | 31,179 | 31,626 | 32,522 | 32,129 | 32,107 |
| | 12,116 | 12,111 | 13,223 | 13,871 | 13,613 | 13,498 | 13,531 |
| | 45.4% | 41.1% | 42.4% | 43.9% | 41.9% | 42.0% | 42.1% |
| 野菜 | 26,545 | 22,421 | 23,916 | 25,567 | 24,508 | 23,212 | 21,515 |
| | 14,428 | 12,759 | 13,684 | 14,002 | 13,562 | 13,103 | 12,602 |
| | 54.4% | 56.9% | 57.2% | 54.8% | 55.3% | 56.4% | 58.6% |
| 果実 | 8,031 | 7,628 | 7,838 | 8,333 | 8,450 | 8,406 | 8,399 |
| | 6,846 | 3,963 | 4,128 | 4,281 | 4,287 | 4,210 | 4,173 |
| | 85.2% | 52.0% | 52.7% | 51.4% | 50.7% | 50.1% | 49.7% |
| 花き | 4,293 | 3,437 | 3,529 | 3,529 | 3,438 | 3,327 | 3,264 |
| | 2,040 | 1,355 | 1,369 | 1,327 | 1,263 | 1,239 | 1,201 |
| | 47.5% | 39.4% | 38.8% | 37.6% | 36.7% | 37.2% | 36.8% |

している。
なお果実（果樹）の出荷量は、最盛期（79年）の61.2万3千トンから20年（91年）は27.7万トンと、すでにバブル期の3分の1程度に。20年の主要卸売市場における国産果実の平均価格はキロ4超す高値だ。

注)①全国産出額＝生産農業所得統計（農業総算出額）、販売高＝総合農協統計表（当期販売・取扱高）②専門農協の販売高は含まない③生産農業所得統計の対象品目は全国の産出額50億円以上かつ当該都道府県の産出額が1億円以上、全品目を対象とはしていない④単位以下は四捨五入のためシェアは実数とは異なることがある